



検索・中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

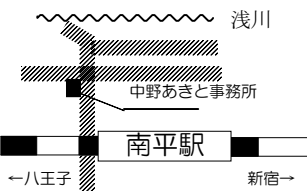
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)

(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

2020年
8月発行

第212号

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



PCR検査 抜本拡充など

日本共産党の提言と
党日野市議団の緊急申し入れ

新型コロナウイルス感染の急拡大が止まりません。全国の1日の新規感染者は1000人を突破し、東京でも400人を超える事態にもなっており、日野市でも少しずつ増え続けています。こうした事態に対し日本共産党は、コロナ対策に関する緊急の提言を行いました。

また、日本共産党日野市議団も日野市に対し、緊急の申し入れを行っていますのでご紹介します。

中野あきと

日本共産党の提言
(概要)

① 感染震源地(エピセンター)とされる地域を明確にし、住民・在勤者全体を対象にした大規模・

① 日野市内で行われているPCR検査の実態を明らかにするとともに、検査体制の抜本拡充へ向けた東京都、日野市が財政的支援を行うこと。(※2)

② 市内の医療、介護、福祉保育、教育施設等、感染リスクの高い職場で働いている職員等への定期的な検査を行うこと。

③ コロナ禍への対応などでこの3ヶ月で前年比約4億円の減収となっている市立病院に対し、今後の体制拡充のための予算を含め財政支援を強化し、市の責任を果たすこと(申し入れ全文は市議団ホームページをご覧ください)。

(※1) 一番の要は、感染者が集まり感染が持続的に集積されるエピセンターを明らかにし、検査能力をそこ

日本共産党市議団 の申し入れ

網羅的なPCR検査を。(※1)

② 陽性率など地域ごとの感染実態が分かる情報開示

③ 医療、介護、福祉、保育教育など集団感染リスクの高い施設職員らへの定期的な検査の実施。

④ 陽性者を隔離・保護・治療する体制を緊急につくること。

南平駅前 「豪雨災害救援募金」

8月1日午後、中野あきと事務所では南平駅前「豪雨災害救援募金」に取り組み、14,087円が寄せられました。ご協力ありがとうございました。責任をもって被災地にお届けします。



▲募金を呼びかける中野あきと市議 (写真中央)



に集中的に投じ、面として大規模検査を行うことで、感染力のある無症状者を見つけ隔離・保護することが感染抑止の力であり、それにはPCR検査が力を発揮します。

(※2) 現在、日野市においては、日野市医師会によってPCR検査センターが設置され、地域の医療機関・クリニックから紹介を受けた方を対象に週2日(1日約2時間)、最大100件程度の範囲で検査が行われていますが、市立病院の検査も含めた日々の検査件数と陽性者数、陽性率などは明らかにされていません。



▲取り壊され更地になった南平体育館 (南平4丁目)

南平体育館建設
工事説明会が開かれる

7月18日(土)、南平体育館建設へ向けた工事説明会が行われました。基礎工事の着工は9月予定で工期は来年末。

参加者からは、工事に伴う騒音問題に対する質問・意見等が出されました。

なお、党市議団は、豪雨災害時の避難所としての対策や、市の財政問題を踏まえた計画の見直し・延伸が必要だと指摘、提案するとともに3月市議会まで、ごみ広域化に伴う周辺環境整備費を財源に活用することを強く批判し、是正を求めました。

短信

戦争が終わって一番早く流ったスポーツは野球だった。狭い空き地で三角ベースやゴロベースに興じながら、プロ野球の中継をラジオにかじりつくようにして聞いた▼「球は転々外野の塀」などという、志村正順アナの名調子に何度も拳を握ぎったものだ。ひいきのチームの不甲斐なさに「もう帰るわ」などという、観客席からの辛辣なヤジも手に取るように聞いた▼ある日の巨人・中日戦の試合前、突然「文ちゃん」という聞き覚えのある野太い声がした。ラジオの人気番組「話の泉」のレギュラー、詩人のサトウハチロー氏に違いない。氏は熱烈な中日ファン。「文ちゃん」とは中日の強打者・西沢道夫選手のあだ名。近くにいたのを、ネット裏から声を掛けたのだろう▼今でも野球のテレビ中継はよく観る。選手の一挙手一投足をじっくり観察したいので、「ドンドンぴっぴ」の応援は邪魔になるが、コロナ禍で入場制限に加えて大声の応援は自粛となり、私設応援団の姿も消えた▼おかげで懐かしい「スポン」という捕球の音や「カキーン」という打球音がすっきり聞ける。これを機会に大リーグ同様、鳴り物入りは見直してはどうか。集団で大声を上げる気持ちも分るがその一方で、こんな野球好きもいるのだ▼それにしてもガラガラ観客席はあまりに寂しい。空席に跳ね返るホームランは味気ない。早く満員の外野席に吸い込まれるホームランを見たいものだ。

新ごみ焼却炉

またも水銀を排出

今年6月16日、日野市石田のクリーンセンター敷地内にある可燃ごみ焼却施設から「公害防止基準値」(50 μg)を超える水銀が排出されましたが、7月18日にも同様の事態が発生しました。周辺の生活環境に影響を及ぼしかねない度重なる事態は重大です。

日野市及び「浅川清流環境組合」の見解

原因について日野市および「浅川清流環境組合」は、「可燃ごみの中へ水銀が混入した」ことをあげています。煙突入り口の水銀濃度は、同組合の定める停止基準には至っていないため、「周辺に環境汚染や健康被害を生じることはない」としています。

環境負荷低減の約束はどこへ

日野市は、「ごみ処理広域化計画」を進める理由の一つに、「環境負荷の軽減」をあげていました。

2013年6月議会で、中野あきと議員の質問にクリーンセンター長は、「焼却炉の排ガスは法規制より厳しい自主規制値



▲中央煙突の建物が新焼却施設

日本共産党市議団は、周辺住民への説明会の実施を求めると共に、9月議会に向け、原因究明、日野市および焼却施設を管理する「浅川清流環境区組合」の対応など、徹底的な調査、追求を行います。

【7月18日・水銀排出での対応】 (浅川清流環境組合公表)

煙突入り口の水銀濃度が基準値を超えたため、午前5時02分、水銀除去のため活性炭の増量操作。
(煙突入り口水銀濃度：1時間平均値)

6時00分	161 μg (マイクログラム)
7時00分	44 μg
8時00分	22 μg
9時00分	12 μg
10時00分	9 μg

※なお、同組合からは、5時02分時のデータは公表されていません。

(注) 水銀は中枢神経疾患を引き起こす有害物質で、かつてイタイイタイ病と言われた水俣病などを引き起こしました。



コロナ禍の豪雨災害 日野市に求められる対策

梅雨前線の影響による豪雨で、全国に甚大な被害が発生しています。新型コロナウイルス感染の危機のさなか、これまでと大きく異なる事態です。市民の命を守るため、従来の対策の枠を超えた強力な支援、抜本的な対策が必要になっていきます。

日野市でも昨年の台風19号で、多摩川、浅川流域の住民8600人が指定避難所に避難する事態が起こりました。

今、コロナ禍の中、懸念される今後の豪雨・台風災害に備え、指定避難所を増やすことをはじめ、コロナ感染に対応した専用スペースの確保、

衛生環境を確保するための備品・物品の備蓄などが緊急に求められます。

同時に、より根本的には日野市域の4分の1に及ぶ浸水想定区域を減らし、要避難地域、避難者数を減らすための河川治水対策、土砂災害対策を強力に進めることが求められます。

日本共産党市議団も、改めて市内における危険箇所と避難体制の点検、コロナ個所と感染症に対応した避難所の量質における改善を市に求めるとともに、浅川、多摩川の浚渫・堤防の改修強化など河川改修等による流域治水対策を国に求めています。

《平山の虫はかせ》 なかむらさんの昆虫の話

④ ヤママユ (本州最大の蛾)



夏の終わりごろから秋にかけて、丘陵地から山地に現れる蛾で、羽を開くと12~13cmあるカイコ(蚕)の仲間です。

ヤママユ蛾は本州最大で、日野市でも8月終わりから秋にかけて

発生します。オスとメスで色が違い、黄色から茶系までいろいろなパターンがあります。また、成虫は口がなく、何も食べず、1ヶ月ぐらい生きて交尾をし、子孫を残して一生を終えます。

昔はカイコが日本各地で飼育され、絹織物は大変貴重でしたが、ヤママユのマユはさらに貴重で、一部の地方で飼育されました。キモノにすると最も高価で一部の金持ちしか手にできないものでした。人間にとって宝物になる昆虫がいるなんて驚きです。

(虫を集めて60年余) 平山6丁目 中村 芳樹

南平、平山地域では

日野市全体では17の小中学校の体育館が洪水時の避難所として指定されています。

また、南平、平山地域では、平山小学校、豊田小学校と共に、かしまだい地区広場、日本野鳥の会ウイング跡地、平山台健康・市民支援センターグラウンドなど、屋外オープンスペースが緊急避難所(洪水時に身の安全を守るために緊急に避難するオープンスペース)として指定されています。

中野あきと

【お詫びと訂正】

7月号「元副市長による兼業問題」の記事で、見出しに「副市長」とあるのは、「元副市長」の誤りです。お詫びの上訂正いたします。

【9月の無料法律相談日】 9月10日(木)

会場 日野市役所6階共産党控室

お申込みは清水とし子事務所 ☎042-582-1042

◎「みどりと清流」の読者をご紹介下さい。

対象は、南平、平山、平山公社住宅にお住まいの方
無料でお届けします。(中野あきと事務所)

しんぶん

赤旗

日刊●月3497円 日曜版●月930円

◎短期間のお試し購読。一部売りも。

お気軽にお申し込みを。中野あきと事務所